エコアクション21

環境活動レポート

2016 年度

（2016 年 2 月 1 日～2017 年 1 月 31 日）

発行日：2017 年 4 月 1 日

サカタ理化学株式会社

〒997-0010　山形県鶴岡市余慶町 6 番 38 号

TEL 0235-24-6938　FAX 0235-23-6577

サカタ理化学株式会社

環　境　方　針

≪基本理念≫

当社は、理化学機器販売等の事業活動の中で、環境保全への取組が経営の重要課題であることを認識し、環境経営システムを構築・運用していくとともに、地球に優しい事業活動を第一と考え、社員一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組んで行きます。

また、私たちは大学・試験研究機関が行う低炭素化社会構築に向けた様々な研究について、システムの提案から導入までを行うことにより、研究活動を側面から支援し、社会貢献を行っていきます。

≪行動指針≫

☐ 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

☐ 環境目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。

≪具体的な取り組み≫

- 営業車両運行に伴う二酸化炭素排出量　削減に努めます。
- 廃棄物の分別を徹底し、焼却ゴミの削減を目指します。
- 業務廃棄物を削減するとともにリサイクルを推進します。
- 節水対策として必要以上の水の使用を控えます。
- 有害化学物質を含む試薬類の適正管理を行います。
- 環境に配慮した製品の購入と販売に努めます。
- 低炭素化社会構築に向けた最新の情報を収集し提供します。

平成２９年２月３日

サカタ理化学株式会社

代表取締役　佐々木一

2．組織の概要

2－1．事業所名及び代表者名

サカタ理化学株式会社　　代表取締役　佐々木　一

2－2．事業の概要

理化学器械・分析器械の販売業

2－3．事業規模

資本金：2,020 万円　　従業員数　　２４名

敷地面積　本社・鶴岡営業所　　５９１㎡

山形営業所　　３９７㎡

秋田営業所　　８７㎡

2－4．所在地と連絡先（担当者）

本社・鶴岡営業所

〒997-0010　鶴岡市余慶町 6 番 38 号

環境管理責任者　：　中村　誠

環境管理者　：　森屋　茂樹

TEL:0235-24-6938　FAX:0235-23-6577

山形営業所

〒990-0074　山形市芳野 3 番 1 号

環境管理者　：　木暮　哲朗

TEL:023-615-2977　FAX:023-634-2966

秋田営業所

〒010-1638　秋田市新屋表町 6 番 17 号

環境管理者　：　鎌田　康孝

TEL:018-888-8581　FAX:018-888-8582

酒田営業所

〒998-0005　山形県酒田市大字宮海字中砂畑 27 番地の 21

TEL 0234-33-5585　FAX 0234-24-5399

※社員は常駐せず、危険物・薬品類の保管も無い。

仙台営業所

〒984-0058　宮城県仙台市若林区元茶畑 44 ｺｰﾎﾟたいむ 103

TEL 022-217-1928　FAX 022-217-1938

※社員は常駐せず、危険物・薬品類の保管も無い。

3．対象範囲と対象取組期間

3－1．認証・登録範囲

理化学器械・分析器械の販売業

3－2．環境活動レポートの対象取組期間

2016 年 2 月 1 日～2017 年 1 月 31 日

4．環境目標

4－1．環境目標項目の選定

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック、ならびに環境方針との整合性を図り、次の 5 項目について、環境目標を設定しました。

1）二酸化炭素排出量　　2）廃棄物排出量　　3）総排水量
4）グリーン購入の推進　　5）省エネ対応製品の販売促進　6）会社周辺の清掃活動

※PRTR 法に該当する化学物質の使用はありません。

4－2．主な環境負荷の実績

2016 年度（2016 年 2 月～2017 年 1 月）当社における主な環境負荷の実績は下表に示す通りです。

二酸化炭素排出量（kg-CO_2）			廃棄物排出量（t）		総排水量（m^3）
電力（係数：0.553）	灯油・LPG	ガソリン・軽油	一般廃棄物	産業廃棄物	（水使用量）
10,592	**10,711**	**62,991**	**3.45**	**0.23**	**378**

※電力の二酸化炭素換算係数は、平成 28 年度東北電力のものを使用しました。

4－3．環境目標（短期・中長期）の設定

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量、グリーン購入、製品サービスに係る環境負荷の削減の EA21 必須項目ならびに山形エコアクション 21 関連目標について、単年度目標ならびに中長期目標を下記のように設定しました。

	単年度目標	中長期目標
	2016 年度（2016.2～2017.1）	2013～2017 年度（5 年間）
■二酸化炭素排出量	2015 年度同期比 0.5%削減	2013 年度比 3%削減
■廃棄物排出量	前年度量維持	リサイクル率 90%以上を維持
■総排水量（水使用量）	2015 年度同期比現状維持	2013 年度比 1%削減
■グリーン購入の推進	可能な商品は全てグリーン購入	可能な商品は全てグリーン購入
■省エネ対応製品の販売促進	省エネや低炭素に関連する製品及びシステム提案件数を各営業所で毎月 10 件以上	実績に基づき目標を設定

４－４．2016 年度（取組対象期間）環境目標値

４－３．の考え方に従って、2015 年度実績値を基に、2016 年度（2016.2～2017.1）の具体的目標値を下記のように算出しました。

	2015 年度実績 （2015.2～2016.1）	2016 年度目標 （2016.2～2017.1）
■二酸化炭素排出量	84,010kg-CO2	83,590kg-CO_2
1）電　力	10,317kg-CO2	10,265kg-CO_2
2）灯油・LPG	9,503kg-CO2	9,454kg-CO_2
3）ガソリン・軽油	64,190kg-CO2	63,869kg-CO_2
■廃棄物排出量		
1）一般廃棄物	3.22t	3.22t
2）産業廃棄物	0.22t	0.22t
■総排水量（水使用量）	325m^3	325 m^3
■グリーン購入の推進	可能な商品は全てグリーン購入	可能な商品は全てグリーン購入
■省エネ対応製品の販売促進	省エネや低炭素に関連する製品及びシステム提案件数を 1 人、2 件/月以上	省エネや低炭素に関連する製品及びシステム提案件数を各営業所で毎月 10 件以上

※リサイクル率とは、全廃棄物量に対する循環資源（再使用＋再生利用）の割合を言います。
※事務用品のグリーン化率は、グリーン購入ネットワーク（GPN）認定商品の割合を言います。

5．主な環境活動計画

５－１．二酸化炭素排出量の削減

１）電力使用量の削減

・室内温度は、冷房時 28℃、暖房時 20℃の設定とする。
・電気製品の買い換えの際は、省エネタイプの機器を選定する。
・昼休み等、不要な電力使用を控え、なるべく残業をしないよう効率的な業務を心掛ける。

２）灯油使用量の削減

・事務所内の暖房については、業務に差し支えない程度に温度設定を下げる。
・暖房吹き出し口を作業者のいる方向に向け、効率よく暖房を行う。

３）ガソリン・軽油使用量の削減

・毎月エコドライブアンケートの実施。
・車両日報により、走行距離、燃費などの整備状況を把握する。
・車両入れ替え時は、エコカーや燃費の良い新型プロボックスを優先して購入する。

５－２．廃棄物排出量の削減

・分別を徹底し、可能な限りリサイクルする。
・外部からのゴミはなるべく持ち込まない。
・両面コピーや縮小コピーの励行。
・カタログは完全配布を目指す。
・エコキャップ活動に参加

５－３．排水量（水使用量）の削減

水を出しっぱなしにしない。

蛇口への節水コマの取り付けや元バルブの調整。

トイレタンクに 2L ペットボトルで節水対策。

５－４．グリーン購入の推進

事務用品を購入する際は、グリーン購入ネットワーク（GPN）認定商品であることを確認する。

５－５．省エネ対応製品の販売促進

商品を紹介する際、省エネ対策商品やエコモード機能付商品を推奨する。

５－６．会社及び周辺の清掃活動

年に２回以上、会社及び周辺の清掃活動や環境整備を行う。

６．環境目標の実績（2016.2～2017.1）

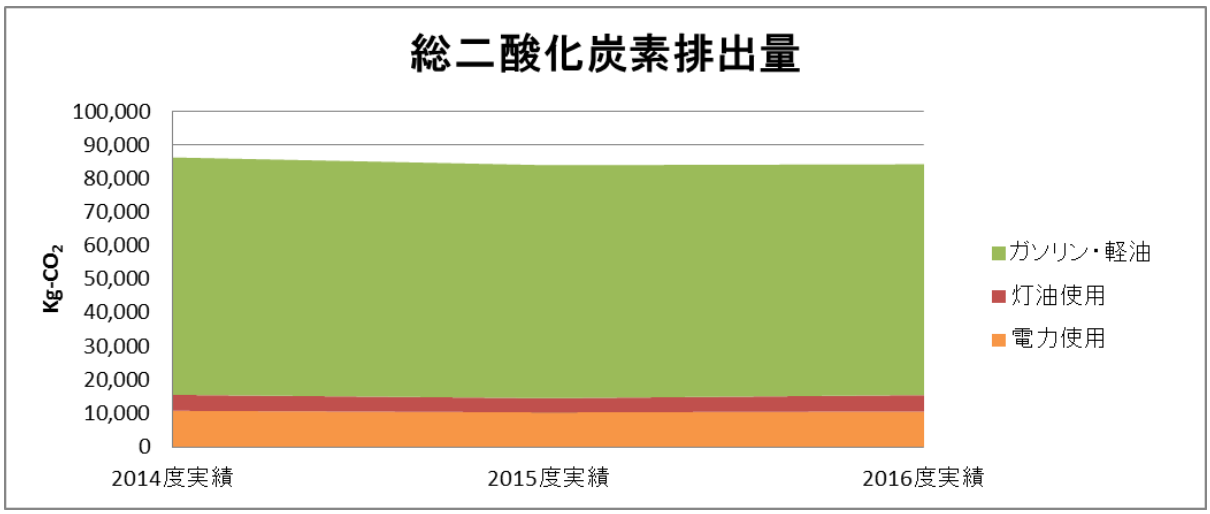
対象取組期間における環境目標の達成状況は下記に示すとおりでした。

６－１．二酸化炭素排出量

１）全体（目標：0.5%削減）

2015 年度実績	2016 年度目標	2016 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
84,010kg-CO_2	83,590kg-CO_2	84,295kg-CO_2	▲285kg-CO_2	▲0.34%	×

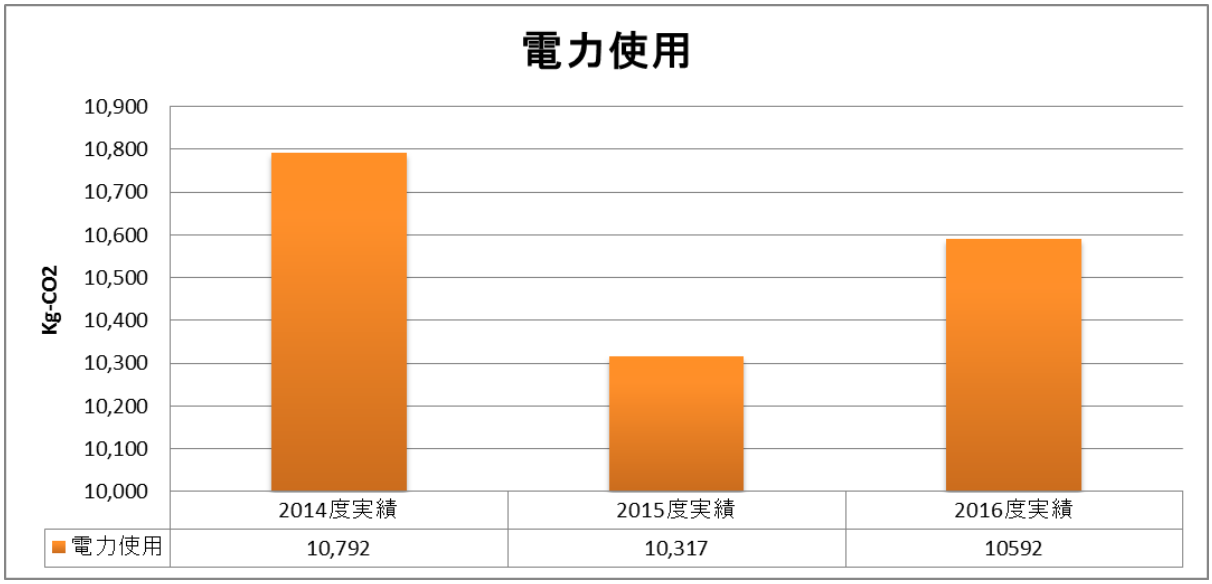
【コメント】電力量と灯油量の増加がトータル的な排出量の増加に繋がってしまった。



２）電力使用（目標：0.5%削減）

2015 年度実績	2016 年度目標	2016 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
10,317kg -CO_2	10,265g-CO_2	10,592kg-CO_2	▲275kg-CO_2	▲2.6%	×

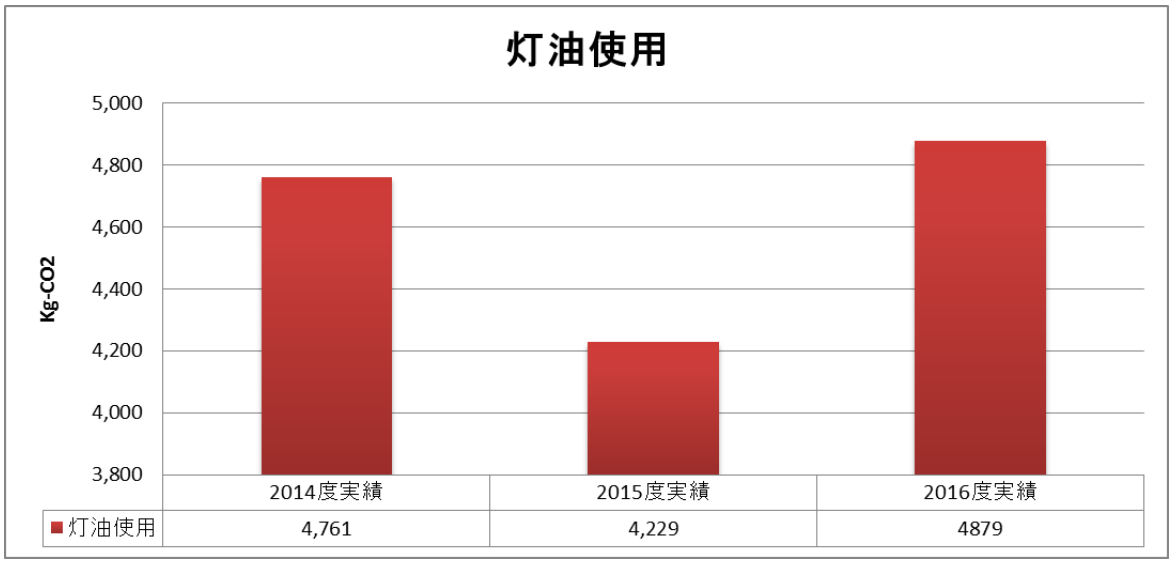
【コメント】節電に対して声掛けが不足、冬と夏の電力使用について是正していなかった。



３）灯油使用（目標：0.5%削減）

2015 年度実績	2016 年度目標	2016 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
4,229kg -CO_2	4,208kg-CO_2	4,879kg-CO_2	▲650kg-CO_2	▲13.3%	×

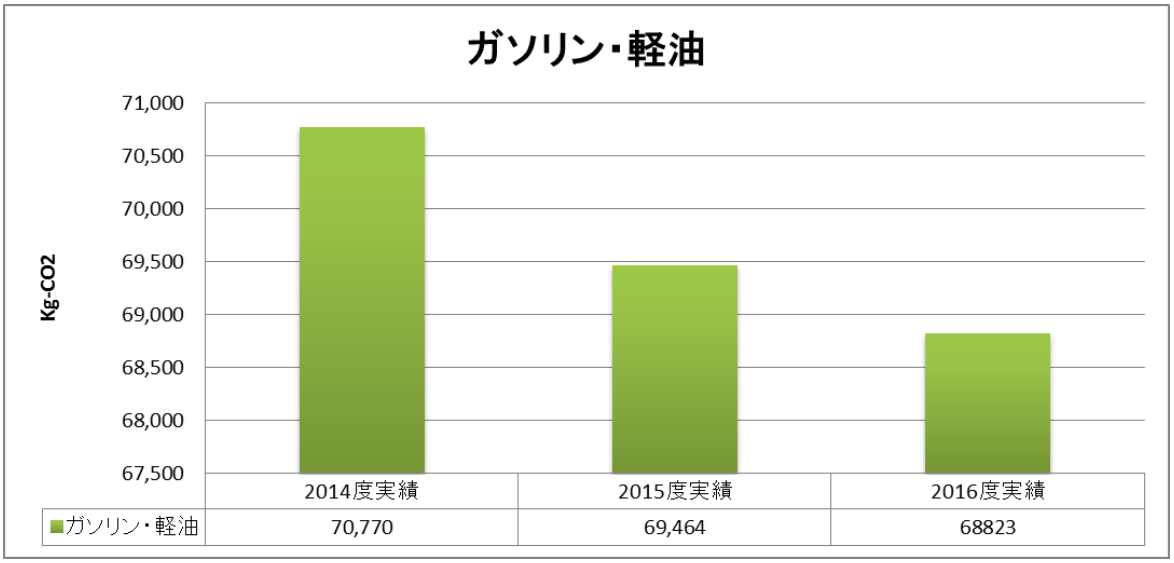
【コメント】冬期間の業務時間の増加。ウォームビズの徹底の声掛けが不足していた。



４）ガソリン・軽油・ＬＰＧ使用（目標：0.5%削減）

2015 年度実績	2016 年度目標	2016 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
69,464kg -CO_2	69,117kg-CO_2	68,823kg-CO_2	641kg-CO_2	0.92%	◎

【コメント】軽油車輌が無くなったことエコドライブの声掛けの徹底で削減することができた。



※1…削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナス（増加）を示す。

※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

６－２．廃棄物排出量

１）一般廃棄物（目標：分別の徹底と現状維持）

１００％リサイクルされています。

２）産業廃棄物（目標：分別の徹底と現状維持）

産業廃棄物に関しては、固形燃料やプラスチックなどにリサイクルされています。

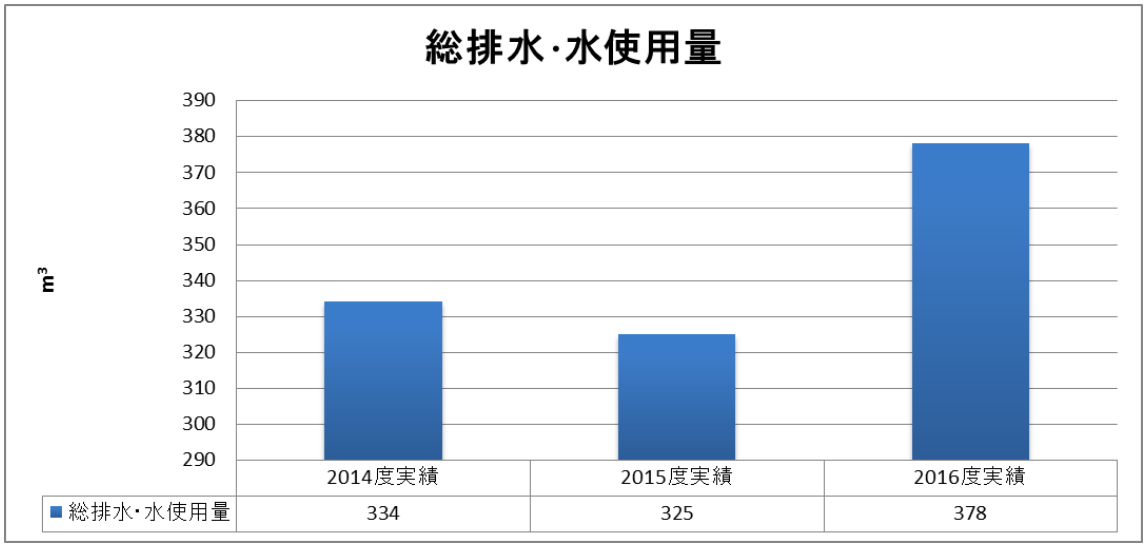
2016 年 10 月 1 日　　ウィズ環境様にて廃棄物についての講習会の様子

2016 年 10 月 1 日　ウィズ環境様にて処理設備など工場見学の様子

６－３．総排水量・水使用量（目標：前年度の維持）

2015 年度実績	2016 年度目標	2016 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
325m³	325m³	378m³	▲53 m³	▲14%	×

【コメント】上下水道の使用は、ほぼ給湯室での飲料関係及びトイレのみに限られる。
山形営業所と鶴岡営業所で漏水があった為、増加。定期的に漏水チェックする。



６－４．グリーン購入の推進

この期間に購入した事務用品については、すべて、GPN 対象商品でした。

2015 年度実績	2016 年度目標	2016 年度実績	評価※2
現状把握を行い、対象となる購入物件は、全てグリーン購入を行った。	対象となる購入物件は、全てグリーン購入を行う。	現状把握を行い、対象となる購入物件は、全てグリーン購入を行った。	◎

【コメント】対象となる商品は全てグリーン購入とし、維持管理を行う。

６－５．省エネ対応製品の販売促進

2015 年度実績	2016 年度目標	2016 年度実績	評価※2
省エネや低炭素に関連する製品及びシステム提案件数を 1 人、2 件/月以上【 ヨ	省エネや低炭素に関連する製品及びシステム提案件数を各営業所で毎月 10 件以上	省エネや低炭素に関連する製品及びシステム提案件数を各営業所で毎月 10 件以上	◎

【コメント】近年は省エネや低炭素、環境負荷に対する意識が高い商材が多い。再生可能エネルギーをはじめ、リチウムイオン電池、ソーラーパネル等はもちろん材料系でも複合材や石油に頼らない自然由来の研究開発に対する営業提案もカウントした。

※1…削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナス（増加）を示す。
※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

６－６．会社及び周辺の清掃活動

年に２回、会社及び周辺の清掃活動と環境整備を行うことが出来ました。

7．環境活動計画の取組結果の評価
ならびに次年度の環境目標

7－1．環境活動計画の取組状況の評価

○…十分に取り組んだ　△…ある程度取り組んだ　×…取組不十分（未実施）　－…評価保留

取組項目		具体的活動計画	評価
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量削減	■室内温度は、冷房 28℃、暖房時 20℃の設定とする	△
		■電気製品の買い換えの際は、省エネタイプの機器を選定する	○
		■昼休み等、不要な照明を消灯する	△
		■席を離れるときは、PC をスタンバイモード、外出時はシャットオフ	△
	灯油使用量の削減	■事務所内の暖房については、業務に差し支えない程度に温度設定を下げる	×
		■暖房吹き出し口を作業者のいる方向に向け、効率よく暖房を行う	×
	ガソリン・軽油使用量の削減	■毎月エコドライブアンケートの実施	○
		■車両日報により、走行距離、燃費、オイル交換、空気圧などの整備状況を把握する	○
		■車両入れ替え時は、エコカーや燃費の良い新型プロボックスを優先して購入する	○
廃棄物排出量の削減		■分別を徹底し、可能な限りリサイクルする	○
		■外部からのゴミはなるべく持ち込まない	○
		■両面コピーや縮小コピーの励行	○
排水量（水使用量）の削減		■漏水チェック	△
		■蛇口への節水コマの取り付けや元バルブの調整	△
グリーン購入の推進		■事務用品の GNP 対応商品のリストアップ	△
		■発注時の確認	△
		■名刺の用紙を再生紙にする。	○
省ｴﾈ対応製品のｼｽﾃﾑ提案		■省エネや低炭素に関連する製品及びシステム提案	○
会社周辺の清掃活動		■年に２回以上、会社及び周辺の清掃活動や環境整備を行う。	○

７－２．　２０１７年度環境目標

	本社・鶴岡営業所　　目　標
	2017 年度（2017.2～2018.1）
■二酸化炭素排出量	昨年度同期比 0.5%削減
■廃棄物排出量	昨年度同期比現状維持
■総排水量（水使用量）	昨年度同期比現状維持
■グリーン購入の推進	グリーン対象になる購入の全てを グリーン購入する。
■環境負荷削減に関する目標	省エネや低炭素に関連する製品及びシステム提案件数を各営業所で 毎月 10 件以上行う

	山形営業所　　目　標
	2017 年度（2017.2～2018.1）
■二酸化炭素排出量	昨年度同期比 0.5%削減
■廃棄物排出量	昨年度同期比現状維持
■総排水量（水使用量）	昨年度同期比 25%削減 ※今期は漏水があったため
■グリーン購入の推進	グリーン対象になる購入の全てを グリーン購入する。
■環境負荷削減に関する目標	省エネや低炭素に関連する製品及びシステム提案件数を各営業所で 毎月 10 件以上行う

	秋田営業所　　目　標
	2017 年度（2017.2～2018.1）
■二酸化炭素排出量	昨年度同期比 0.5%削減
■廃棄物排出量	昨年度同期比現状維持
■総排水量（水使用量）	昨年度同期比現状維持
■グリーン購入の推進	グリーン対象になる購入の全てを グリーン購入する。
■環境負荷削減に関する目標	省エネや低炭素に関連する製品及びシステム提案件数を各営業所で 毎月 10 件以上行う

８．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

２０１６年３月１日付で、法令遵守状況を下記の通り確認しました。

廃棄物処理法

遵守状況に問題はありませんでした。

リサイクル法

遵守状況に問題はありませんでした。

劇物及び毒物取締法

紛失防止処置等の要求事項に問題はありませんでした。事故等の発生もありません。

危険物の記載に関する法令

保管に関しては、消防法に定める指定数量以下で該当しませんでした。

事故等もありませんでした。

環境面での関係当局からの違反等の指摘や指導、あるいは外部からの訴訟については、会社創立以来一度もありません。

９．代表者による全体評価と見直しの結果

９－１．環境経営システムの有効性の評価

昨今、消費者をはじめ企業間の取引においても環境に対しての意識が高まっており、環境にやさしい商品･サービスを提供し､環境にやさしい企業であることが求められています。環境目標に向かって社員一人ひとりが意識して取り組むことで組織としての団結と効率化につながっており、また当システムを積極的に事業に取り入れることでビジネスチャンスにもつながると考えております。

９－２．環境経営システム変更の必要性

現段階で、環境方針、環境目標、環境活動計画等、システムの主要部分について、変更の必要はないと判断します。

９－３．次年度以降の取組の方向性

社内での活動や声掛けによってのエコや省エネに関しては限度があるため、環境目標を見据えながら、社内外問わずアイディアを出して環境コミュニケーションに積極的に取り組んでいただきより多く社会貢献できる提案、また柔軟な新たな発想を望みます。

この環境活動レポートはご希望の方に差し上げております。
ご希望の方は、本社窓口へお申し出いただくか、下記までご連絡下さい。

また、エコアクション 21 認証取得後は、エコアクション 21 中央事務局の HP（http://www.ea21.jp/）でもご覧いただけます。

サカタ理化学株式会社

URL　http://www.sakatarikagaku.co.jp
Email　　info@sakatarikagaku.co.jp

■本社・鶴岡営業所
〒997-0010　鶴岡市余慶町 6 番 38 号　　TEL:0235-24-6938　FAX:0235-23-6577

■山形営業所
〒990-0074　山形市芳野 3 番 1 号　　TEL:023-615-2977　FAX:023-634-2966

■秋田営業所
〒010-1638　秋田市新屋表町 6 番 17 号　TEL:018-888-8581　FAX:018-888-8582